

産業・医療・防災面で重要な道路

大隅縦貫道の早期実現を目指して

11月16日、町文化センターで大隅縦貫道整備促進決起大会が開催され、約500名が参加して縦貫道の早期実現を求めました。大会では、南大隅高校2年の神園心春さんが観光や産業など各方面からの道路の必要性を説明し、Azu salonの小脇梓さんがサロン経営の立場で大隅縦貫道整備に対する意見を発表しました。



鹿屋市から南大隅町に至る延長約53kmの「大隅縦貫道」。大会では全面開通への財源確保を求める決議採択も行われました。

第11回錦江町でんしろウトレイル開催 秋色に染まった山中を駆け抜ける

第11回錦江町でんしろウトレイルが11月24日に開催され、132名が参加しました。花瀬自然公園石畳をスタートし、荒西山、大尾岳、八山岳を走るロングコースは全長約39km。途中、半下石公民館に設置されたエイドステーションでは、半下石おたすけ隊の方々によるおにぎりや豚汁などのおもてなしが行われ、選手たちの疲れを癒していました。



山や森などの未舗装路を走るトレイル。ロングコースの他に、モデルコース約20.6km、ショートコース約13kmも設定されました。

田代小6年の今村統司さんは「刺身を切るのは初めてで、難しかった。ヒラマサは弾力があって、とてもおいしい。」と感想を述べました。



実際に触れて魚を身近に感じてほしい 特産のヒラマサでおさかな教室

魚離れが進む子どもたちに、魚や海の魅力を知ってほしいとおおすみ岬漁協青壮年部が「おさかな料理教室」を行いました。20年以上続く恒例の料理教室で、今年は2日間に分けて行い、11月15日には田代小と大原小、池田小の児童計21名が参加。指導を受けながら自分たちで刺身にした新鮮なヒラマサを満面の笑みで頬張っていました。

子どもたちが切った刺身→



11月9日から始まった秋の全国火災予防運動に併せて行われ、13日には田代幼稚園幼年消防クラブが防火パレードを実施。



秋の全国火災予防運動で火災予防啓発 幼年消防クラブが防火パレード

11月12日に法輪保育園幼年消防クラブの園児7名が火災の発生しやすい季節の前に防火パレードを実施しました。「わたしたちは火遊びをしません」と書かれた横断幕を持ち、法被姿で町内を行進した園児たち。先頭の福岡由唯ちゃんが打ち鳴らす拍子木に合わせ、沿道の住民に向け、大声で力強く火災予防を訴えました。



10月6日に参加した鹿児島純心女子短期大学の吉満梨花さんは「自分が知っている茶畑よりもかなり背が高く、茶の実摘みは想像以上にハードな作業でした。」と振り返りました。



耕作放棄地の茶畑で実を収穫 地域再生茶の実プロジェクト

錦江町と鹿児島純心女子短期大学では地域再生プロジェクトとして盤山地区にある耕作放棄地の茶畑から茶の実を摘む体験を10月6日、24日、25日に行いました。当日は延べ約140名の方々と国際派ファッションモデル兼女優のROLAさんや水原希子さんも参加され、地域再生に向けたエシカルな取り組みとして、茶の実摘みや殻剥き体験なども行いました。

丹野さんから学ぶ 認知症とは？ 周囲の理解があれば楽しく暮らせる

39歳で若年性アルツハイマー型認知症を発症し、認知症当事者の思いを発信し続ける丹野智文さんとの交流会が大根占小学校で行われました。大根占小4年生と池田小3～6年生の計21名が参加し、対話形式で進行。大根占小4年の福岡咲那さんは「認知症の方に優しい言葉をかけてあげることが大切だとわかった」と語りました。



宮城県仙台市在住の50歳。自動車販売会社に勤務していた39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症を発症。丹野さんをモデルにした映画「オレンジ・ランプ」が2023年に公開されている。

宿利原小全校児童5名と教職員による合奏「♪RPG」。おそろいの衣装でばっちりきめ、息の合った演奏を披露しました。



錦江町小・中学校音楽会 開催 練習の成果を堂々と発表

11月6日に町文化センターにて第18回錦江町小・中学校音楽会が開催されました。各学校の児童生徒による歌や合奏の発表に、訪れた保護者や地域の方々から大きな拍手が送られました。今年度で閉校を迎える宿利原小、池田小、大原小にとっては今回が最後の音楽会。町内8校の学校が集まって開催する音楽会は今年で幕を閉じました。